

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R3/10/12(火)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	全体会議出席者14名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	13%	12人	75%	2人	13%	0人	0%	16人	100%

前回の改善計画

利用者のアセスメントに目を通そう。

前回の改善計画に対する取組み結果

大半の職員が何とか出来ていると答えた。
 利用者の「どうしたいのか」をアセスメントを読んで把握できるが、覚えきれなかったり、忙しく仕事をしているうちに目の前の事だけが見えてしまい利用者本人の目標や希望を見失ってしまうという意見が見られた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	6人	38%	10人	63%	0人	0%	0人	0%	16人	100%
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1人	6%	12人	75%	3人	19%	0人	0%	16人	100%
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	5人	31%	10人	63%	1人	6%	0人	0%	16人	100%
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2人	13%	10人	63%	3人	19%	1人	6%	16人	100%

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①利用開始前に申し送りや個人ファイルで本人の情報やニーズを把握することができる。日々の申し送りや会議に必要な情報は共有できている。利用者のニーズについて職員同士が声掛けして良いサービスができるように心掛けている。個人ファイルやミーティングなどで共有している。</p> <p>②情報がサービス開始前にわかるので対応できている。介護計画書を読んで出来ることから始めている。申し送りで確認している。利用者や家族の表情を見て不安がないか気を付けるようにしている。</p> <p>③挨拶声掛けなどに配慮している。笑顔を心掛け、安心して頂けるように努めている。ケアアセスメントに目を通し、情報共有出来ている。まだ慣れていない時期には積極的に声掛けするように心掛けている。初期の朝の挨拶から多く声掛けするように心掛けた。早く環境に慣れて頂くためにこまめな声掛けを心掛けている。笑顔で接するように心掛けている。</p> <p>④アセスメントに意識して目を通すようにし、不安な気持ちを察し声掛けをしている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①利用者について話し合う時間が少ない。申し送りのみで個人ファイルはあまり見ていない。時間をとることが難しい。各自でアセスメントを読むだけになっている事もある。事前情報を得ることが後回しになってしまった。</p> <p>②利用者とはコミュニケーションをとるようにしているが、家族とのコミュニケーションはケアマネ等に任せきりになってしまっている。家族の必要としている支援についてはあまりわかっていない。本当に利用者本人が望んでいる事なのかわからなくなる時がある。</p> <p>③利用者の状況を職員同士で大きな声で確認しあったりしてしまう事があり、配慮にかけている時があるかも。</p> <p>④利用者の自宅での様子やご家族がどんな方なのか、あまり理解できていない。自分の仕事の都合で周りとうまく連携が取れず、現状を理解するのが遅くなったとき不安にさせてしまっているかも。家族の不安を聞く機会が稀なため出来ていない。特にご家族と会う機会が少ない為関係作りが出来ていない。家族への気配りがまだできていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>まとめ意見：</p> <p>①新規利用者の情報はアセスメントなどで事前に提供され確認しているが、読むだけで共有や話し合いができずに情報を生かせない職員もいる。</p> <p>②介護計画・申し送りなどで情報の共有は行われるが家族とのコミュニケーション不足がある。</p> <p>③積極的に声掛けすることや笑顔で接することで安心してもらえるように工夫している。半面仕事が忙しいと放っておれたり、不安にさせてしまう場面がある。</p> <p>④家族とのコミュニケーションが直接接する機会が少ないので難しい。ケアマネに任せきりになってしまっている。コロナ禍で接する機会が少なく出来ていない。</p>	
<p>次回目標</p> <p>・利用者の情報(アセスメントなど)を確認し、利用者と接し、家族と連絡ノートなどで現状把握をして申し送りなどで共有する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R3.10.12
------------------	-----	----------

2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	全体会議出席者14名
--------------------------	------	------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
① 前回の課題について取り組めましたか？	6人	38%	8人	50%	2人	13%	人	0%	16人	100%

前回の改善計画

情報の共有で利用者の現状を理解するため、申し送り時に送迎などで聞けなかった人は必ず確認するようにしましょう。

前回の改善計画に対する取組み結果

半数以上が何とか出来ている、または出来ていると答えた。聞き逃したときは、F勤の申し送り時に一緒に聞いたり、休み明けの時は申し送り日誌に目を通すようにした。送迎後すぐに入浴介助に入ってしまうと午後まで申し送り事項を確認できなかったりする場合があった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか？	0人	0%	12人	75%	4人	25%	0人	0%	16人	100%
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0人	0%	11人	69%	5人	31%	0人	0%	16人	100%
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指したかわりができていますか？	0人	0%	11人	69%	5人	31%	0人	0%	16人	100%
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1人	6%	10人	63%	4人	25%	1人	6%	16人	100%

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①介護記録・アセスメント・介護計画書等を読んで把握している。サービス提供表を読むようにしている。</p> <p>②アセスメントや日常会話の中で把握したことは対応できる時は対応している。声掛けから会話の中で～したいが把握できている。</p> <p>③本人の気持ち、希望について理解しようと心掛けている。わからないときにはリーダーやケアマネに聞いて工夫するようにしている。利用者の～してほしいには出来るだけ早く対応するようにしている。本人の目標に近いかわりは出来ていると思う。</p> <p>④職員間での情報共有をし、理解を深めた。かかわった内容を記録に残して次の対応にいかせられている。夜勤時など時間に余裕があるときは過去を振り返るために日誌を読み返して次に生かせるようにしている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①読んでも忘れてしまう。文字では理解しても何からしていいか迷う。常に意識はしていられない。</p> <p>②読んでも忘れてしまう。仕事に追われて意識できていないときがある。</p> <p>③本人と話してみると話が合わなかったり、本人が忘れてたりすることがある。かかわってみると本人はそうでもない時があり、空回りになるときがある。最低限のケアの身になってしまい、自立に向けたリハビリなどが出来ない。丁寧な対応は出来ない。希望をかなえられない事もある。</p> <p>④ミーティングでの発言ができていない。本当に利用者本人の目標なのか？家族に希望なのか？職員の都合なのか？がわからなくなってしまう事がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>まとめ意見：</p> <p>①介護計画表などで確認している。理解はしているが何からしていいのか迷ってしまう。常に意識はしていられない。</p> <p>②本人に聞いて～したいに対応できる時に出来るだけしている。忘れてしまったり、仕事に追われて意識していないときもある。</p> <p>③出来るだけ早く対応出来るようにしている。ケアマネやリーダーに聞いて工夫するようにしている。本人に聞いてみると話がかみ合わなかったり、本人が忘れていたりなどで空回りになってしまう事もある。</p> <p>④情報共有は出来ているが、話し合いの場がなかったり、時間が取れなかったりなどで発言できない場合もある。本人、家族、職員の中の誰の希望や都合なのかわからなくなる時がある。</p>	
<p>・次回目標：長期目標を意識し、利用者本人のその時の～したいを出来るだけ早く叶える。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

R3.10.12

3. 日常生活の支援

メンバー

全体会議出席者14名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
⑩	前回の課題について取り組みましたか？	2人	13%	9人	56%	5人	31%	0人	0%	16人	100%

前回の改善計画

利用者本人の普段の生活の中で譲れない何かがあるか聞いてみよう。
(聞き出せた人は個人ファイルに記入)

前回の改善計画に対する取組み結果

半数以上が聞くことができたようだが、聞き出せた人は少なかった。聞き出せなかったが、利用者と話をするきっかけになった。違う話になってしまったが、楽しく会話できた。

▶ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	2人	13%	4人	25%	8人	50%	5人	31%	16人	100%
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4人	25%	10人	63%	2人	13%	0人	0%	16人	100%
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	3人	19%	5人	31%	8人	50%	0人	0%	16人	100%
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4人	25%	10人	63%	2人	13%	0人	0%	16人	100%
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	4人	25%	10人	63%	2人	13%	0人	0%	16人	100%

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ①雑談などをしながら、笑顔で以前の暮らし方を把握できるように気を配っている。改まって聞いたりはないが、習慣化していることや癖を尊重するようにしている。
- ②基本的に本人のキャラクターやスタイルに合わせた介護ができている。利用者に合わせた食事・排泄・入浴介助ができている。利用者に寄り添った食事介助が出来ている。
- ③
- ④表情や言動から気づいたことがあった場合は記録や発信するように心掛けている。普段から利用者の体調には見落としが無いよう気を付けている。観察と共有により対応できていると思う。
- ⑤体調の変化に気づいたときはリーダーにすぐ報告するようにしている。本人の気持ちや変化をミーティングや申し送りでも共有し、変化に基づいた支援が出来ている。個人ファイルに記録して、申し送りなどでも共有できている。柔軟に対応できるようにしている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

- ①自宅でのどのように暮らしているか以前の生活環境の理解があまりできていない。通いや宿泊利用時の状態ばかり気を付けていて、自宅での背景を考えることが少ない。10個以上は把握できていない。以前の暮らし・望む暮らしが維持・実現できているかはわからない。
- ②何度も同じことを言われ、思わず「待って」と言ってしまう事がある。
- ③ミーティングに参加できないことがある。雑用が多く会話が少なく本人の声にならない声にも気づけなくなっている。ケアマネの報告のみで言語化できていない様に思う。
- ④個人ファイルに記入することができていない。情報の共有で出来ていない。
- ⑤たまにパワハラまがいの圧力を他職員から感じることもあり、本人の気持ちに沿った支援が行き届いてないと感じている。すぐに対応できているかというときもできていないときもある。小さな変化に関しては共有するほどの者なのか迷って人に聞くこともある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

まとめ意見：利用者の以前の暮らし方や背景を知るために情報だけではなく、実際に話して知ることを大事にしている職員もおり、10個以上把握は出来ていないが声掛けなどをして工夫している。本人の状況に合わせた基礎的な解除についてはおおむね出来ているが、忙しいときは手が回らなくなって後回しになってしまう。また、ミーティングなどで本人の気持ちを押し量って話し合われる事が出来ていないと感じている職員が多い。その都度、職員は利用者の気持ちや体調に合わせた支援をしているが、共有出来なかったり、すぐに対応出来ない場合もある。利用者とのかかわりも大事だが、職員同士のコミュニケーション不足もあるのではないだろうか？

次回目標：普段仕事の中で感じたことや気になったことを申し送りや全体会議で自分の意見を発言したり、意見箱を使用してみよう。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2021年11月9日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	全体会議出席者14名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	6%	7人	44%	8人	50%	1人	6%	16人	100%

前回の改善計画

地域資源についてまとめた資料をよく読んで、屋久島にはどんな地域資源があるのか理解しよう。(屋久島の地域資源について)

前回の改善計画に対する取組み結果

半分の職員が何とか出来ているまたは、できていると答えたが、資料を読んでもよくわからなかったり、読む時間がなかった職員もいた。資料に目を通し、地域資源について少し理解を深めることができた。資料を読んで初めて知った事業所もあった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	利用者本人のこれまでの生活スタイル・人間関係を理解していますか？	3人	19%	5人	31%	7人	44%	1人	6%	16人	100%
②	利用者本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1人	6%	9人	56%	8人	50%	0人	0%	16人	100%
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	0人	0%	6人	38%	8人	50%	2人	13%	16人	100%
④	利用者本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0人	0%	5人	31%	9人	56%	2人	13%	16人	100%

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①利用者と話したり、アセスメントを読んで、これまでの生活スタイルや趣味嗜好などを理解している。利用者の日々の生活スタイルを大体わかっている。利用者本人の今までの生活スタイルや人間関係について話を弾ませている。</p> <p>②連絡ノートや利用時の写真を通じて、様子をご家族にわかりやすく伝えられるよう心掛けている。出来るだけ家族との接点を持つようにしている。現在つながっている人と切れないよう電話やLINEで連絡をとり、見守ることができた。</p> <p>④民生委員の仕事を通してよく理解している。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①本人のこれまでの生活スタイルがよくわからない。時間がなくて利用者とのコミュニケーションが不足している。アセスメント以上の事はわかっていない。</p> <p>③自宅での生活を把握しきれしていない。自宅にて何か問題があった場合は申し送りなどで知ることができが、それ以上はわからない。</p> <p>④地域資源の把握ができていない。コロナ禍のため積極的に利用できなかった。直接かかわることがないのでよく分かっていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>まとめ意見:アセスメントなどでこれまでの生活スタイルなどはある程度把握しているが、詳しく利用者や家族に聞く時間や機会が少ない。家族や地域の人たちとの関係継続への働きかけはこちらから家族に写真などを送ったり連絡ノートでお知らせしている。自宅で独居の場合は特にどんな生活をしているのかがわかりにくい。民生員や地域の資源を生かして利用者の普段の様子を知ることができたらいい。</p>	
<p>次回目標:屋久島にある地域資源で利用者に必要なものがあるか調べてみよう。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R3.11.9

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 全体会議出席者14名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	25%	7人	44%	4人	25%	1人	6%	16人	100%

前回の改善計画

誰かひとり利用者さんを選んで本人の希望や要望を聞いてみよう。(個人ファイルに記録・すぐに無理な場合はリーダーやケアマネに相談してください。)

前回の改善計画に対する取組み結果

80%以上の職員が日々の中で利用者の希望や要望を聞くことができた。自分だけで無理な場合はリーダーさんを中心にほかの職員にも相談して少しでもかなえられるようにしている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2人	13%	8人	50%	4人	25%	2人	13%	16人	100%
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	7人	44%	9人	56%	0人	0%	0人	0%	16人	100%
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	6人	38%	10人	63%	0人	0%	0人	0%	16人	100%
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	7人	44%	8人	50%	1人	6%	0人	0%	16人	100%

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①介護相談員や民生委員さんなどと地域内で利用者が孤立することなく生活できるよう連携して把握している。</p> <p>②利用者や家族のニーズに応じた支援ができている。利用者に合わせて適切に提供されている。</p> <p>③変化に気づき、迅速に対応できるよう、日ごろから気を付けている。日々の変化を全体で共有し、利用者とかかわることができる。日々の関りから、本人の変化に気づき、ミーティングなどで共有が必要なことは申し送りや個人ファイルに記録するようにしている。全体会議などで共有出来ている。ほかのスタッフに引き継いだり、ケアマネにメモで伝えている。</p> <p>④出来るだけ実行に移すように努力している。体調・天候などに応じた支援が出来ている。柔軟に対応出来ている。状況に応じて急な変更にも施設全体でよく対応していると思う。体調の変化などには対応出来ている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①地域資源の把握ができていない。施設職員は地域資源とのつながりが少ない為それらがどう使われて、利用者につながっているかわかっていない。有効的に使っているとは言えない。今はコロナ禍で外部との交流ができないので難しい。</p> <p>②ご本人やご家族が希望されたとおりにサービスが提供できないときもある。</p> <p>③忙しすぎて記録することができない。周知がまだ足りないと感じる。</p> <p>④少し待っててくださいと対応した時に忘れてしまったことがあった。その日、その時に応じた支援ができないうときもある。つい忘れてしまい、ほかの事に集中してしまう。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>まとめ意見：地域資源を使っても施設職員は把握しづらく、また、有効的に使えていないかわからない。おおむねニーズに合わせたサービスが提供されている。利用者本人の日々の変化を記録し共有して全体会議などで話し合われているが、共有が十分でないときがある。その日その時の利用者の様子や体調に合わせて柔軟な対応が出来ているが、忙しいときは後回しにしまったり、忘れてしまう事もある。</p>	
<p>次回目標：誰かひとりの利用者さんを選んで、ひまわりの感想を聞いてみよう。(希望や苦情・報告などは個人ファイルや連絡ノートに記入してください。)</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R3.11.9
6. 連携・協働	メンバー	全体会議出席者14名

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	0%	9人	56%	5人	31%	2人	13%	16人	100%

前回の改善計画

新型コロナウイルスの影響で外出や面会が制限されていますが、利用者や家族の為にどんなことを工夫したら良いか考えてみよう。

前回の改善計画に対する取り組み結果

ビデオ通話を活用したり、外出ができない分、施設内のイベントなどを楽しんでもらい、家族には日々の様子をLINEやメール、手紙などで知らせる。接触を避けて面会を行う。外出は少人数や外へならいってもよいと思う。レクを楽しみにしている利用者さんがいたので気を付けながら短時間でも実施した。また、その様子を家族に送った。職員が利用者さんとたくさん話して出来ることをしていく。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	0人	0%	2人	13%	4人	25%	10人	63%	16人	100%
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0人	0%	3人	19%	0人	0%	13人	81%	16人	100%
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	1人	6%	3人	19%	2人	13%	10人	63%	16人	100%
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0人	0%	4人	25%	1人	6%	11人	69%	16人	100%

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①担当者会議などで行っている。</p> <p>②職員が参加することは少ないが、管理者やケアマネが参加している。包括との連携は取れている。</p> <p>③地域行事の時にボランティアで参加している。地域の各種機関や活動、イベントに参加している。地域の奉仕作業などには参加している。</p> <p>④中学生や高校生などと直接はやり取りできないが、手紙などでやり取りしている。地域との触れ合いも多く、利用者の笑顔も多く見られる。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①施設職員はホール業務が忙しくて、会議に参加することは少ない。</p> <p>②ケアマネや管理者以外はあまり参加しない。</p> <p>③自治体・地域とのイベント等に参加できていない。感染防止の為行事や会議には全て参加できていない。</p> <p>④今はコロナウイルス感染拡大防止のため訪れてはいないが、地元のお店からお菓子を頂いたり、高校生ボランティアからマスクの提供、中学生からクリスマスカード贈呈などを受けている。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>まとめ意見:コロナ禍もあり、行事や地域の活動そのものが少なく、職員も参加出来なかった人が多かった。会議などもケアマネや管理者が参加することが多い。コロナ禍のなか、それでもオンラインや品物を通じて交流があるのがありがたい。</p>	
<p>次回目標:地域の方々や民生委員、介護相談員などが参加する運営推進会議では様々なことが議題に上がっています。一度、玄関にある運営推進会議の議事録に目を通してみてください。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

R3.12.14

7. 運営

メンバー

全体会議出席職員12名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	19%	8人	50%	5人	31%	0人	0%	16人	100%

前回の改善計画

小規模多機能事業所とは？という資料をもう一度読んでサインしよう。(個人ファイル棚下段にあり)

前回の改善計画に対する取組み結果

7割程度の職員ができた。仕事の忙しさから読むひまがなかった職員もいたが、これから読んでいきたいとの事。

今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計(総人数)	
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	2人	13%	4人	25%	8人	50%	2人	13%	16人	100%
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3人	19%	11人	69%	2人	13%	0人	0%	16人	100%
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2人	13%	6人	38%	6人	38%	1人	6%	16人	100%
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	2人	13%	4人	25%	6人	38%	3人	19%	16人	100%

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①意見箱を活用している。できている。職員として意見を言う場所やいうべき時は出来ている。全体会議などで報告し、共有できている。</p> <p>②苦情報告書を記入している。送迎時の会話や連絡ノートの記載の中から意見や要望があれば報告書を出して検討対策し、共有・周知している。個々の利用者にあった対応をしている。要望苦情報告書が良く活用され、情報共有や対応が出来ている。</p> <p>③夕方の送迎時の車の無灯火等について意見を頂いたので全体会議で報告・周知している。運営推進委員会でも意見などを頂き、議題に上がることがある。ケアマネへの報告はよくしている。その都度、苦情相談報告書に記入している、良い意見を聴いたときは職員にも周知し、やりがいへつなげることができた。</p> <p>④</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①事業所への意見が中々言えなかった。納得いかないことも多々あるが、全部は言えていない。運営について理解していないので何も言えない。</p> <p>②接点が少なく自分自身が意見をくみ取ったりする場面は少ない。</p> <p>④コロナ禍なので地域との交流は困難。地域と協働した取り組みについてほとんど出来ていない。地域に向けて開かれた状態ではない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>まとめ意見:事業所への意見を直接言えない職員もいるが、意見箱を活用して意見出来ている。夜勤専門や送迎がない職員は直接家族などから意見や希望を聞くことは少ないが、報告書にて対策・共有がされている。地域からの意見や相談は少ないが全体会議などで周知されている。コロナ禍の為、交流は少ないが、学校やボランティア団体とオンラインやマスク・カード等出来ることを実践している。</p>	
<p>次回目標:事業所への意見や希望を意見箱などを使って伝えてみよう。(良いことでも悪いことでも、みんなに伝えたいことで可)</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

R3.12.14

8. 質を向上するための取組み

メンバー

全体会議出席職員12名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	0%	6人	38%	10人	63%	0人	0%	16人	100%

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

施設内での勉強会はほぼ毎月全体会議にて行われている、参加できない時は資料を読んでサインで全体に周知しているが、今年は新型コロナウイルスの影響もあり外部での勉強会、研修は少ない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている		なんとかできている		あまりできていない		ほとんどできていない		合計 (総人数)	
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか？	3人	19%	8人	50%	4人	25%	1人	6%	16人	100%
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか？	1人	6%	7人	44%	5人	31%	3人	19%	16人	100%
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	1人	6%	1人	6%	3人	19%	11人	69%	16人	100%
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか？	3人	19%	10人	63%	1人	6%	2人	13%	16人	100%

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①参加できる時は休みの日でも出てきて参加している。事業所内での勉強会に参加している。研修や勉強会があれば、積極的に受けたい。事業所内で行われるものには参加している。介護ロボットの研修に参加し、現場で継続して使用できている。都合の良いときに参加できている。参加できないときは勉強会の資料を読んでいる。</p> <p>②介護福祉士の資格を取ることができた。</p> <p>③事業所は参加している。</p> <p>④事故報告・ヒヤリハット検討会などに参加し、リスクマネジメントに取り組んでいる。こまめに報告書の対策欄をチェックしている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①勤務だったり、日時が合わなくて参加できていない。モチベーションが上がらずたまに会議を休んでしまう。勤務の関係で参加できなかった。</p> <p>②島外の研修が多くコロナ禍や金銭面を考慮して参加できていない。職場外の研修には参加できなかった。魅力的な資格が見つからず、スキルアップの必要性を感じない。</p> <p>③地域の連絡会には個人としては参加していないが事業所単位では参加している。どこでいつ行われているのか分からない。</p> <p>④リスクマネジメントにあまり取り組んでいない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>まとめ意見: 事業所内での研修や勉強会への参加は勤務上参加できない職員等もいたが、おおむね参加または、後から資料を見てもらえている。介護福祉士の資格をとった職員はその先にどんな資格を目指すかわからないまたは、魅力を感じないとの事でスキルアップをやめてしまう職員が多い。コロナ禍の為研修そのものが少なかった。地域の連絡会へは事業所単位では参加しているが、個人では参加していない為知らない人が多かった。リスクマネジメントについて事故報告・ヒヤリハット等の検討会に職員が参加できている。</p>	
<p>次回目標: 自分がスキルアップするためにどんな資格があるのかももう一度調べてみよう。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	R3.12.14
9. 人権・プライバシー	メンバー	全体会議出席職員12名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	5 人 31 %	10 人 63 %	1 人 6 %	0 人 0 %	16 人 100 %

前回の改善計画

年に1回以上、身体拘束・虐待防止・プライバシーの保護・成年後見制度について勉強会に参加する、または資料を読む。

前回の改善計画に対する取組み結果

勉強会が実施され、ほとんどが参加または資料を読んで理解している。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	4 人 25 %	8 人 50 %	4 人 25 %	0 人 0 %	16 人 100 %
② 虐待は行われていない	10 人 63 %	6 人 38 %	0 人 0 %	0 人 0 %	16 人 100 %
③ プライバシーが守られている。	4 人 25 %	12 人 75 %	0 人 0 %	0 人 0 %	16 人 100 %
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	1 人 6 %	8 人 50 %	2 人 13 %	5 人 31 %	16 人 100 %
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	5 人 31 %	10 人 63 %	1 人 6 %	0 人 0 %	16 人 100 %

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①違法な身体拘束は行われていない。どうしても必要な場合のみ検討され、家族の同意を得て拘束が行われている。解除できないかの検討会を毎月全体会議で行っている。</p> <p>②見たり聞いたりしたことはない。行われていない。</p> <p>③自分のケアで配慮に欠けた部分がなかったか反省し、次に活かすように意識している。利用者さんも自分と同じ人の子だと思って接している。プライバシーは守られている。自分だったら…と相手の立場に立って物事を考えている。配慮している。</p> <p>④</p> <p>⑤服薬内容などが外部に漏れないようにしている。薬の空袋などは紙に包んで捨てている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①違法な拘束はないが、どうしても安全の為に拘束しなければならないときはある。センサーを使用している。</p> <p>②</p> <p>③夜間、見回りの為入り口を少しあけておくばあいがある。</p> <p>④該当者がいない。名前は知っているが自分が対応するわけではないので詳しくは知らない。</p> <p>⑤大声で利用者の事を話す時がある。メモをそのまま捨ててしまった。違う人の連絡ノートに間違えて記入し、気づいてヒヤッとしたことがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>まとめ意見:拘束や虐待などはされていない。プライバシー保護や個人情報の保護については、職員の中でヒヤッとしたことがあった。後見人制度については名前は知っているが理解しているかというとしていない方が多い。</p> <p>次回目標:プライバシーや個人情報の保護についてもう一度考えて自分が守れているか振り返って、対策を立ててみよう。</p>	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	有限会社 岡村	代表者	代表取締役 岡村 栄一	法人・事業所の 特徴	地域密着型特定施設と併設されており、屋久島町にただ一つの小規模多機能である。海と山とが一望できる。利用者が自分のペースで通いや宿泊、訪問を利用できるように、家族・職員・看護師との連携を密にし利用計画を立てて、家族の急病や台風などによる急な利用にも対応している。常時見学なども受け入れており、地域住民とも親交を深め親しみやすい施設を目指している。
事業所名	ひまわりのお家	管理者	岡元 さつき		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	大山	齋藤・新出	森山					岡元・濱田	山口・村中	8

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所サービス評価の取組みはなされていたが、システムや評価方法が難しくわかりづらかった。わかりやすく工夫する。	良く取組まれており、一部出来ていない職員もいるのが気になった。	達成可能で具体的な目標が立てられていた。	前回同様わかりにくい部分があったのでもっと工夫が必要。事業所全体で取り組んでいく。
B. 事業所のしつらえ・環境	前年度できなかった大浴場や、雨漏りの修理・改修を実施する。	大浴場の改修や雨漏りの修理も無事終わった。	10年も経てば修理が多くなってくる場所も出てくると思う。利用者が過ごしやすいように整えてくれるとうれしい。	修理や改修が必要な場所はその都度、運営推進委員会で報告して対応していく。
C. 事業所と地域のかかわり	「子供110番」としての役割を職員が理解する。地域のイベントや行事に感染対策をして参加したい。	子供110番の家の説明書を読みやすい場所に設置した。感染対策をしたうえでひまわりのお家内のみとはなったが、運動会や祭りを楽しんだ。	コロナ禍の中で中学生、高校生、ボランティアとの交流が可能な範囲でできた。	コロナ禍でも行事の継続や、家族と利用者の関りが途切れないう工夫する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	感染予防や安全対策を取ったうえで、利用者の外出や交流を実施する。	コロナ禍で地域の行事はほとんど実施されなかった。	少人数でのドライブなどで自分の地域に出かける機会があり、写真などで確認することができた。	感染予防や安全対策を取ったうえで、利用者の外出や交流を実施する。

E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で話し合われた意見の結果や改善点をしっかり報告する。	その都度、申し送りや全体会議などで周知された。運営推進会議録は玄関で誰でも読めるようになっている。	現在地域で起こっている事や、介護に関する疑問などを話し合うことができている。	運営推進会議で話し合われた意見の結果や改善点をしっかり報告する。
F. 事業所の防災・災害対策	防災マニュアル。非常災害対策の整備を急ぐ。	BCPの策定が始まっているが、まだ完成していない。	完成したら、一度見てみたい。	BCPの整備を急ぐ。